

パン、菓子製造業におけるコンベアを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8~9	B棟焼き工程にて生産終了後にコンベア清掃を行っている時にチェーンカバーの上にあったせんべいカスを発見。手で取り除こうとした際に右手人差し指がチェーンに巻き込まれ sprocket とチェーンの間に挟まれ負傷した。	45~499	300
2	12~13	搬送コンベア清掃時ベルト裏の粕取スクレーパーを取り外し洗浄しようとしたところ誤って落下させ靴の上から左足親指に直撃し怪我をした。	64~299	100
2	14~15	菓子製造ライン。プリン充填箇所のカップ移送ベルトを清掃する時は、ベルトを停止して行うことになっている。事故発生時はベルトを止めるべき社員がこれを怠り、また被災者もたまたまベルトの汚れを発見したことから、思わず右手の布巾で拭き取ろうとした拍子に左手をベルトの外枠（ガイド）に乗せてしまい、カップホルダーとベルトの外枠（ガイド）の間に指を挟まれてしまった。	54~999	500
2	15~16	当社製造加工場にて清掃のため生産ラインのカバー（サイズ45cm×75cm、重量約1kg）を取り外していた時誤って手を滑らせてしまい、その拍子にカバーが足の上に落下した。右第一趾を負傷したものである。	55~99	50~99
3	16~17	2Fライン蒸し物搬送ベルトの掃除中に、電源を切らないままモーターの裏部分を掃除中に右腕をベルトに挟まれた。	19~299	100
5	15~16	段ボールにガムテープをコンベアで貼り付ける作業をしている時に箱がずれてしまったため焦ってしまい手がダンボールとコンベア（ゴム）の間に挟まってしまった。	50~99	50~99
5	9~	焼成したパンの配列を整える作業において、コンベアに乗ってパンを整えようと	49	50~

	10	したため足が滑ってバランスを失い、床に落下した。		99
5	5~6	箱詰エリア丸生地ラインの作業が終了し、縦ピロースイングコンベア下部の清掃を行っていたところ、他の作業車が縦ピロー包装機を起動した為、各コンベアが動きスイングコンベアも下降する構造になっており、加工する際にブザーが鳴るが、右手を抜くことが遅れたこともあり、スイングコンベアと生地搬送コンベアとの間に右手が挟まれた。	45	300 ~ 499
6	4~5	パン箱搬送エリアにて、ローラーコンベア上のパン箱がストッパーで引っ掛かり停止していたため、ローラーコンベア両サイドの縁に乗り、パン箱の詰りを解消し、右足を前に踏み出したところ、縦幅10cm程度の隙間に右足が入り込み、右下腿を鉄のバーに打ちつけた。	32	500 ~ 999
7	14~15	チョコレート工場にて作業を行っていた。チョコレート搬送用コンベアの受け皿に溜まった粕を取り除こうと受け皿を手前に引っ張った。その際手前と奥側で支えていたフレームの奥側から受け皿がはずれ落下した。その反動で受け皿の手前側が跳ね上がり、受け皿とコンベア受けローラー取付用アングルの間に左示指を挟み負傷した。	20	500 ~ 999
7	16~17	二次包装室で作業台とベルトコンベアを使用し、マフィンを受け取り検品作業中作業台が動き、ベルトコンベアに隙間が生じ、誤って左親指を挟んでしまい骨折した。	35	50~ 99
7	15~16	ビスケットを搬送するベルトコンベアの駆動ローラー部近辺で、布巾を用いてベルトを拭きあげる作業を実施した。ここは、指示している作業箇所ではなく、作業者の勘違いによる間違った箇所であった。（プラチェーンと表示にて危険箇所であることを明示していた）作業開始直後、布巾が駆動ローラーに巻き込まれると同時に、右手が駆動ローラーに巻き込まれ受傷した。	50	100 ~ 299
9	12~ 13	工場内コンベア清掃場所で、コンベアの清掃時、コンベアの電源が入ったまま、煎餅カスを取り除こうとコンベアのすき間に手を入れて、着用していたアームカバーがコンベアに引っばられた際、左手首を挟まれた。	49	100 ~ 299
9	1~2	チョコレート包装室において、清掃中にコンベアのカバーを外し、ベルトを稼働させながらコンベア内の治具を清掃中に、駆動チェーンと sprocket に左手の	23	500 ~

		中指が巻き込まれて、左手第三指先端を負傷したものである。		999
10	22～ 23	オープン6号出口の搬送コンベアでオープン4号オペレーター中に隣ラインでチェーンのたるみがでっばりに引っ掛かり止まってしまった。そこで、駆動を停止せずに、復旧作業をしようとした為急に歯車が動きだし、右手小指を挟んだ。	38	300 ～ 499
10	6～7	包餡機を使い作業中、包餡した菓子がベルトコンベアーから落ちた為、安全カバー内に手を入れ駆動部に、小指を挟み切ってしまった。	23	50～ 99
10	7～8	被災者はパン成型ラインにて粉払い・ブラシに付着していた生地を取り除こうとしたところ、ブラシに指を巻き込まれて被災した。	52	1000 ～ 9999
10	10～ 11	被災当日、本社工場内にあるパイ切断機でシート状のパイ生地を焼き上げるためのカッティング作業を行っていた。カットされたパイ生地を自動で流れてくる天板（55×40センチ）に並べる工程で、生地と1枚目の天板が流れてくるタイミングがずれていたためか、カットされた生地が天板から床に滑り落ちそうになっていた。そのための焦りからか誤って天板搬送用のチェーンに右手小指が入ってしまい、チェーンとギアの間に挟まれた形で負傷した。	21	30～ 49
11	22～ 23	工場内にて味付け工程で切替清掃をしていた際、味付け分配コンベアが蛇行し、ベルトがフレームと接触しそうになった為、ベルトを手で押し戻そうとして親指が駆動ローラーに巻き込まれ受傷した。受傷後、業務を切り上げて病院を受診したが深夜の為翌日になった。	22	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html